

1月行って、2月になりました

やっと冬らしい寒さを感じる朝でした。今朝の気温は2℃でした。中村や下川口の先生は、車のフロントガラスが凍っていたと話していました。まだ私の住む



グリーンハイツでは、この（節分オニが来た！2/4）冬車のフロントガラスが凍ることはないの、ひょっとこのまま今年の冬が終わるのではと心配していましたが、まだまだこれからが寒さの本番です。（きっと）

今年は、何処のスキー場も雪不足で困っているようです。私も年に数回はスキーに行くのですが、今年はまだ一度も、予定も立てていません。

今年度の授業日数も残り30日（6年は29日）です。明日は、来年度の入学説明会です。来週は幼児の体験入学もあります。いよいよ年度末です。

さあっ！気合いを入れて let's go！

寅次郎・レイア・美空ひばり・・・

少し前の話になるが、正月に映画を観た。

『男はつらいよ お帰り寅さん』『スターウォーズ スカイウォーカーの夜明け』の2本だ。

「男はつらいよ」は、山田洋次監督の日本の伝説的映画シリーズ。「ふてん」の寅こと車寅次郎が騒動を巻き起こす人情喜劇。ふるさと葛飾柴又をベースに日本各地を旅しながら美しい日本の情景も描いた誰もが知っている映画。。

1969年の第一作から50年が経つ。かつて「寅さん」と言えば正月映画の定番だった。ベージュチェックの背広を肩にひっかけ、ダボシャツに腹巻き、背広と同じ色の帽子と素足にセッタ、首からはお守りを下げ、「笑いと涙を誘う台詞」は、誰からも愛された。

1995年に第48作が公開され、その翌年に寅さん役の渥美清が逝去した。その訃報を私はアメリカでニュースを聞いた。1997年の第49作目の特別編を最後にシリーズは幕を閉じた。そして、最初の作品から50年となる年に第50作として、再び我らの寅さんが戻って来た。

今度の主人公は寅さんの妹さくらの息子、甥の満男。満男は、サラリーマンから小説家に転身したばかり。初めてのサイン会で、昔の恋人泉と再会し、ストーリーが展開する。

満男役の吉岡秀隆、泉役の後藤久美子は、そのまま年齢を重ね、実人生と重なっている。さくら

をはじめ周りの人達もそのまま年をとっている。もちろんもう御前様の笠智衆はじめ、亡くなった人もいる。

映画の場面場面で、当時の寅さんがスクリーンにふっと登場してくる。ちなみにこの作品では今の寅さんの消息は一切出てこない。山田洋次監督は「寅さんは年齢不詳で、幻影のように現れる。寅さんは時空を超越している。（略）寅さんは永遠になったってことだな。」と語っている。（日経12/14）

昔の寅さんの映像は、現代の最新技術でみごとに蘇り、全く不自然さを感じさせないものとなっている。

スターウォーズは、世界中で熱烈に愛されるアメリカ映画である。スターウォーズシリーズの最新作、実写映画本編第9作目が『スカイウォーカーの夜明け』だ。

『スターウォーズ』シリーズの主要登場人物であるレイア。そのレイアを演じるキャリー・フィッシャーも2016年に急逝している。

今回のシリーズでは、過去の実写映像と3DCGを合成させて、レイアはみごとによみがえっていた。こちらも全く不自然さを感じなかった。

そして、大晦日のNHK紅白歌合戦。昭和の歌姫美空ひばり（1989年没 享年52歳）が、人工知能（AI）でよみがえり30年ぶりの新曲「あれから」を歌った。作詞は秋元康である。

私は、その前段のNHKスペシャルから興味があったので観ていた。ひばりの過去の音源を人工知能に学習させ、それをもとにヤマハの最新の歌声合成技術（VOCALOID：AI）で制作された曲だ。

ネットでは、賛否両論が巻き起こっているが、これから間違いなく、人工知能は発達し続け、映像技術や音声技術は飛躍的に進歩を続けるだろう。

過去の人をリアルに蘇らせることが、可能な時代になる。これから歴史上の人物も含めて、どうなっていくのだろうか？

蘇った寅さんもレイアも、美空ひばりも私は、十分に楽しんだことは間違いない。

とにかく今、人類は比類のないスピードで科学を初めあらゆる分野で進化を遂げている。子ども達が大人になるそう遠くない時に、車は空を飛び、手ぶらで買い物ができ、「電話」ができる時代になっているのだろう。

----- すみません。私のせいです。 -----

どんなことがあっても木曜日発行の「校長室だより」。私の体調不良もあり、行事等も重なり、これが出来た時には、ほとんどの学級が帰った後でした。発行は木曜なのに、配布したのは金曜になりました。決して、子どもが持って帰るのを忘れた訳ではありません。